

Kobe Univ. Wander Vogel Club *60th ANNIVERSARY*



神戸大学体育会ワンダーフォーゲル部

創部60周年記念誌
(2011⇒2020の活動)

CONTENTS

創部60周年に寄せて

神戸大学体育会ワンダーフォーゲル部 主将 建石 航希 1
第六代・顧問 小笠原 博毅 2
翔羊会会長 大塚 正一 2

われらがワンゲル、2011～2020 年間のあゆみ 3

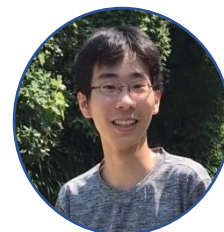
58 回生のページ 4 ～ 68 回生のページ 13

翔羊会報告

創部 50 周年記念事業を振り返って 14
翔羊会 10 年史 15
東京支部 10 年の歩み 16
部員名簿 17
編集後記 18

創部60周年に寄せて

「自然は変わらずそこにある」



神戸大学体育会ワンダーフォーゲル部 主将 建石 航希

2020 年。神戸大学ワンダーフォーゲル部が創部 60 周年を迎えた。創部当初のワンダーフォーゲル隆盛の流れはもうないのかもしれない。ワンゲルという言葉聞いて、一度にその言葉を理解してくれる学生がほぼいないことが物語っている。ただ、自然と共にありたい、自然の中に暮らしたい、というワンゲル精神には、今も変わらず、コンクリートジャングルに住む我々若者を惹きつけるものがあるというのは確かだ。

今年は、コロナウィルスの流行という未曾有の事態に苛まれ、部としての活動は限りなく制限された。登山初心者、経験者、運動部出身者、文化部出身者等様々な背景を持った者が、和気藹々と協力しながら、登山等日々の活動に打ち込むということはなかった。何と大学の講義も前期はオンラインとなり、私はついに一度も登校することはなかった。このコロナ禍において、人と人との関わりというものは希薄になってしまったようだ。それでも、大自然は常に人類を包摂する存在だ。野を捨て、都会の喧噪へと飛び込んでいく若者が多い中で、自然とふれあうことは我々を童心に帰らせてくれる。どんなにふれあっても「密」とはならない自然が我々の救世主なのかもしれない。この節目の年を乗り越えた先も、ワンゲル精神が変わらずそこにあることを願う。

山旅は股旅



第六代・顧問 小笠原 博毅（国際文化科学研究科教授）

むかし神戸の街には、加藤文太郎がいた。軍事演習か測量目的、または都市の特権階級の余暇活動であった登山を、市民の営みへと切り開いていった先駆者である。文太郎は山に対して平等だった。六甲山も氷ノ山も、乗鞍岳も燕岳も、己の命を奪うことになる槍ヶ岳もまた、独りで登り、生きて帰ってきてはまた登る場所として、文太郎にとってすべて同じ価値のもとにあったのである。神戸大学ワンダーフォーゲル部が設立された1960年、日本社会は戦後登山ブームのただ中だった。高度経済成長と歩調を合わせるかのように、登山は大衆化され、若者文化となっていった。かつて淡く繊細な色合いしかなかった登山の出で立ちは人工的で鮮やかな彩色を主流とするようになり、いまやギアの進歩は山歩きの技術の未熟さを補ってあまりあるほどだ。山歩きの技術、それは、山に飲み込まれないように安全を確保しながらも同時に、山に溶け込み、山の一部であることを実感するという一見矛盾した技術である。圧倒的な外部の力に取り巻かれ自由に振る舞えないにもかかわらず、自在感を得ることだ。この技術がいまほど発揮されるべきときはあるまい。猫に木天蓼。山行きもまた、渡り鳥たちがとり憑かれたような、しかし静かな陶醉を旅することであってほしい。

苦難を乗り越え、明るい未来に向け翔けよう！



翔羊会会長 大塚正一

ここに創部60周年を迎えられた事に、心から先人のご努力に敬意を表し、感謝申し上げます。振り返りますと、創部50周年記念誌発行から早10年が経ち、それは翔羊会と命名されてからの10年でもあります。この間いろいろな苦難も有りました。例えば、

- ・新入部員が0人となる危機
- ・山小屋（翔羊山荘）竣工から50年経過したことによる老朽化と地震対策
- ・翔羊会の会長人選の窮状 これらの問題に対し、
- ・新入部員勧誘等の現役支援の強化
- ・翔羊山荘改装のための資金カンパ
- ・翔羊会会則の改訂による、会長持ち回り制の導入 を実施。

以上の具体例のような先人達の真摯な数々の取り組みを通して、これらの苦難を乗り越え、その結果として今回の60周年を迎えられたのです。

そして今世界は新型コロナウイルスによるパンデミックに襲われています。しかし、これまでも、これからも我々はこの苦難をも乗り越え、きっと来る、そうです夜は必ず明けるように、明るい未来に向け翔羊（→カモシカ）のごとく、高く大きく力強く翔けようではありませんか！

われらがワンゲル、2011～2020 年間のあゆみ

年度	春合宿	夏合宿	他の主な活動
2011 平 23	阿蘇山	南アルプス（白峰三山）	9) 秋合宿（小笠原諸島） 10) インターカレッジ（的形海岸） 12) スキー合宿 2) 山小屋ワーク
2012 平 24	屋久島	北アルプス（槍・穂高）	9) 秋合宿（氷ノ山） 10) インターカレッジ（的形海岸） 12) スキー合宿（菅平高原） 2) 山小屋ワーク
2013 平 25	九重連山	大雪山系	9) 秋合宿（北アルプス、サイクリング） 10) インターカレッジ（姫路） 2) 山小屋ワーク
2014 平 26	阿蘇山	南アルプス（北岳）	9) 秋合宿（北アルプス、ラフティング） 10) インターカレッジ（土山・天満池公園） 2) 山小屋ワーク
2015 平 27	九重連山、霧島	北アルプス（雲ノ平・槍）	9) 秋合宿（白馬三山、立山、ダイヤモンドトレイル、しまなみ海道） 10) インターカレッジ 2) 山小屋ワーク
2016 平 28	屋久島	北アルプス（常念1パーティ、槍1パーティ）	9) 秋合宿（白山） 10) インターカレッジ 11) 2) 山小屋ワーク
2017 平 29	九重連山1パーティ8人	南アルプス（白峰三山、鳳凰三山）	9) 秋合宿（石鎚山、サイクリング） 10) インターカレッジ 5) 2) 山小屋ワーク
2018 平 30	屋久島 九重連山	北アルプス（槍1パーティ6人、大雪山系 前半7人、後半6人）	9) 秋合宿（八ヶ岳、しまなみ海道サイクリング） 10) インターカレッジ（三ノ宮） 5) 10) 2) 山小屋ワーク
2019 令 1	屋久島1パーティ6人、九重連山1パーティ11人	北アルプス（槍3パーティ；9人、5人、8人）	9) 秋合宿（白馬岳、しまなみ海道サイクリング） 11) インターカレッジ（三ノ宮） 5) 10) 2) 山小屋ワーク

58回 2008年

アラフォー 後期高齢者
北京五輪開幕 日本人ノ
ーベル賞4人受賞 篤姫
崖の上のポニョ

懐かしい大学生時代

早いもので卒業からはや10年、大学生だった記憶も徐々に薄れつつあります。特に私は野放図に過ごしたこともあり、全部集めても1カ月足らずの記憶しかありません。ただ、その1カ月の大学生活でもワンダフォーゲルで過ごした時間は鮮明に覚えています。登山中はしんどい思いをしたはずですが、覚えているのはバカをした楽しい思い出ばかりです。

副将 岩本旬平



←バキューム石井



岩本（ナッチョ）→



↑夏合宿 北岳

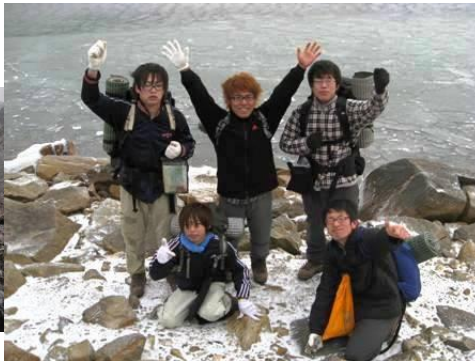


↑秋合宿 奄美大島

↓旧人錬 ナッチョ



↑春合宿 阿蘇



↑自分のパンツなので元気です

(春合宿 九重)



←羽田



広岡→



鳩山内閣誕生 米オバマ大
統領就任 裁判員制度スタ
ート 派遣切り 山ガール

熱量低め（山感薄め）だが、まじめなコツコツ小粒部員たち

思いのベクトルが違って、何となくまあよく収まって、やる時は全力で苦しく楽しくやった。初めての夏合宿・北アルプスでは、途中で体調を崩すものや、足を挫くものが出て、エスケープ。最後の夏合宿・大雪山では、軽い低体温症が出て、エスケープ。少ない全員が揃った大イベントでは、なぜかハプニングが発生。我々の連帯感？役割分担？が発揮されたのは、その後の打ち上げだったのかもしれない。

主務 川上信



←1 回生夏合宿 先輩方と
晴天に恵まれ、絶景の北アルプス！



↓ 秋合宿 上：西表島 沢遊び&マングローブカヌー
下：白馬鑓ヶ岳 空気の澄んだ初秋を楽しむ。



↑ 春合宿 屋久島 縄文杉
雨に見舞われとても寒かった。
翌日の宮之浦岳では奇跡的な晴天！



↑ 夏合宿 大雪山 黒岳
その後は天候に恵まれずトムラウシ行きは
断念した。下山後、富良野などを満喫。



← 冬合宿 白馬岩岳
(右は2 回生の冬合宿時)
スノーシュー、スキー（鹿島槍）、
雪上テント泊…と盛りだくさん。
最後は翔羊山荘で鍋パーティー！

60回 2010年

イクメン 平成の大合併
終結 FIFA 南アフリカ大
会ベスト 16 ゲゲゲの女
房 K-POP ブーム

みんな「渡り鳥」！

夏季にはラフティングや山登り、冬季になればスキー。自然豊かな北海道や北アルプスへ合宿に行くこともある。これだけを聞くと楽しいことばかりの部活だが、オフ期間は地道なトレーニングを行っている。

「日本中を旅するなど無茶なことができるのはワングルの魅力。社会経験を積みたいという人にも向いているかも」

主将 大楠 広務

1960年の創部より、今年で50周年を迎えたワンダーフォーゲル部。9月にはOBらの支援も受けてクロアチアで10日間の合宿を行った。海外への合宿は数10年ぶりの試み。

今回は現役部員5人が参加した。

ワンダーフォーゲルという言葉は「渡り鳥」を意味する。山登りなど活動自体に目が行きがちだが、原点は土地の文化や風土を知ること。実際、安全やコストの問題を考慮しクロアチアでは山登りを断念した。

「今回はワンダーフォーゲルの原点を知るための合宿。訪れたドブログニクは街並みを保護しようという意識が非常に高く、日本と違った」（大楠広務主将）

創部50周年記念周年を記念しクロアチアへ



ワンダーフォーゲル部の部員（2010.10 ワンダーフォーゲル部部室、関西国際空港）



50周年記念事業の神戸大学への寄付の挨拶（2010.12 学長室）
写真右から和田会長、二人おいて福田神戸大学長、木島50周年記念行事実行委員長

61回 2011年

東日本大震災 なでしこジャパン スマホ コクリコ坂から 家政婦のミタ

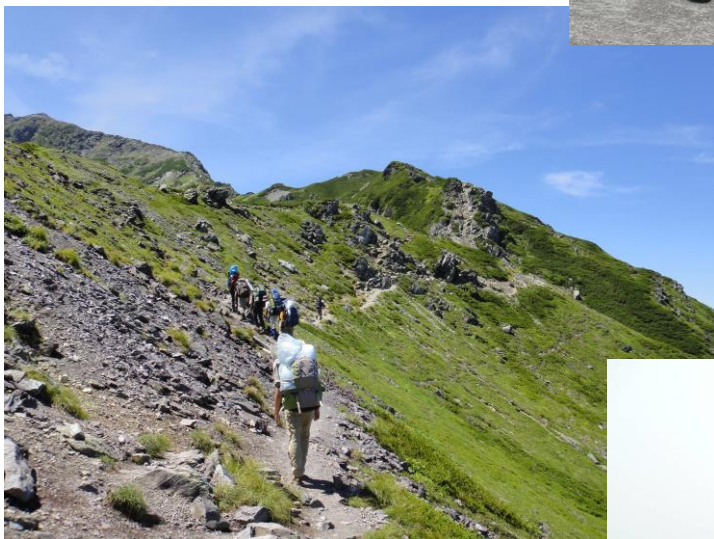
部室が大好きなメンバー！

居心地の良い部室を大好きなメンバーが多い学年でした（部室飲みもよくしました）。1,2回生時の夏合宿は生憎の悪天候でしたが、3回生の夏合宿（南アルプス）は非常に天候に恵まれ、南アルプスを満喫しました。最近では、結婚したメンバーも多く、一緒に登山に行けていませんが、久しぶりにみんなで行きたいです。

副将 飯國 恒之



← 1回生春のP.W.



↑
3回生の夏合宿



63回 2012~2013年

第2次安倍内閣発足 ロンドン五輪史上最多のメダル獲得
山中教授ノーベル医学生理学賞 今でしょ！ おもてなし
半沢直樹 風立ちぬ 富士山が世界文化遺産に登録

上回生いなくとも充実した部活動

62回生がおらず、入部1年目の終わりに、61回生の先輩方から全てを受け継ぎ、部活動の運営に携わりました。2年目は、後輩を連れて、早速、山へ川へとワンデリング。3年目は、春は宮之浦岳、夏は大雪山、文字通り渡り鳥のように日本縦断。62回生はいなくとも、多くの先輩方のサポートを受けて、2年間部活動を牽引しました。

主将 中川直希



↑ 2回生夏合宿
北アルプス
槍ヶ岳山頂にて



↑ 京都保津川で
ラフティング

春合宿
宮之浦岳
道中でヤクシカ遭遇！！

3回生夏合宿
北海道
大雪山系



64回 2014年

集団的自衛権閣議決定
消費税8% あべのハ
ラス完成 ありのままで
(アナと雪の女王) 御
嶽山噴火

ずぶ濡れの南アルプス・快晴の北岳

3年生の夏合宿・南アルプスは暴風雨に見舞われ、ずぶ濡れのテントでみんな震えながら夜を明かしました。しかし翌朝は快晴に。濡れたテントを置いてピストンで北岳山頂に向かいました。皆の足取りがとても軽かったことを今でも覚えています。登山以外にも、後輩たちと一緒にいろんなアウトドアにチャレンジしました。

主将 池戸建騎



夏合宿・南アルプス北岳山頂

(3年生8月。山頂からは富士山も見えました!)

↓淡路島一周サイクリング
(3年生5月)



↑春合宿・屋久島(1年生3月)



↑春合宿・九重連山(2年生3月) →



65回

2015年

爆買い 北陸新幹線開業
”火花” (又吉直樹)
一億総活躍

雨ときどき晴れ

夏合宿で登った大雪山、南アルプス、北アルプスを思い出すと雨ばかりで天気運には恵まれない代だったかと思う。しかし、仲間との楽しかった記憶はそれに勝るほど沢山あり、一瞬垣間見える晴れ間の景色は美しかった。各々の個性が強くて全く退屈しないワンダーフォーゲル部だった。

部長 大川 弘佑



写真上から：

1) 大地と空が広い！2013 年度夏の

大雪山。

- 2) 2013 年度春、九重連山。山の中の温泉最高！
- 3) 絶景ばっちり、2014 年度夏の北岳。
- 4) 2015 年度の京都北山旧人鍊。顔に疲れが出てる？
- 5) 部室でのご飯。山以外でもよく遊んだ。



66回 2016年

天皇生前退位意向を表明
山の日施行 18歳選挙権
施行 ポケモンGO MLB
イチロー通算 4257 安打

いざ 大自然へ

残雪の九重連山、急峻なアルプス、紅葉狩り、サイクリング、スキー、部室での鍋パ。登山だけに囚われない自由な発想で、日本全国、四季折々の自然を楽しみました。

又、同期でビールでも飲みながら昔の思い出を語り合いたいですね！

主将 葛原 諒

👉 夏合宿（3回：北アルプス）



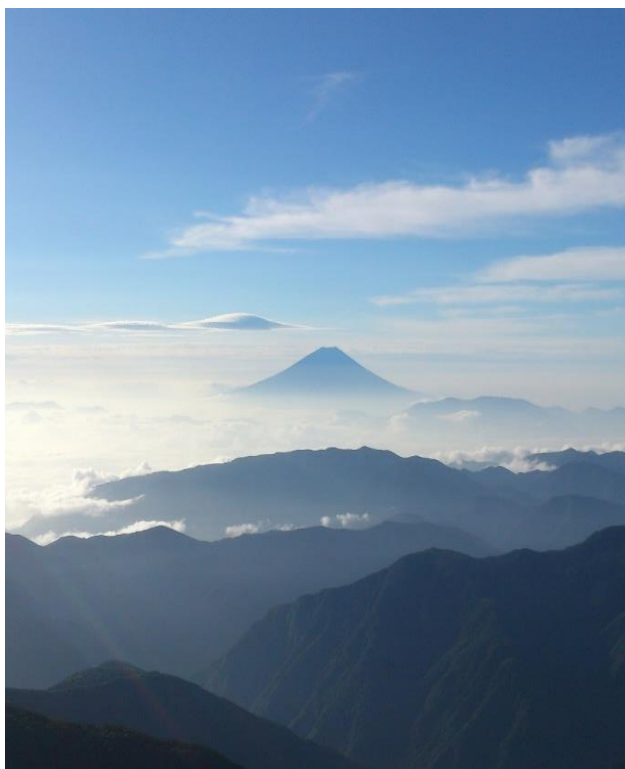
👉 六甲ハイキング（荒地山）



👉 淡路島サイクリング



👉 夏合宿（1回：北岳山頂より）



👉 秋合宿（2回：立山連峰）



67回 2017年

付度 米トランプ大統領就
任 インスタ映え
NintendoSwitch 発売 “イン
フルエンサー”

山を愛し、雨に愛され

私たちの最後の夏山は北岳と鳳凰三山の2つのパーティに分かれて挑みました。鳳凰三山のパーティは天候に恵まれ、三山を踏破できました！一方、北岳組は雨に見舞われ北岳から先は断念し、引き返す結果になりました。私たちの学年では2つのパーティで合宿に行くことが多かったのですが、なぜか片方は大体雨に降られました(笑) 思い通りにいかないことも多かったですが、振り返ると笑い話になるような楽しい思い出が沢山出来ました！

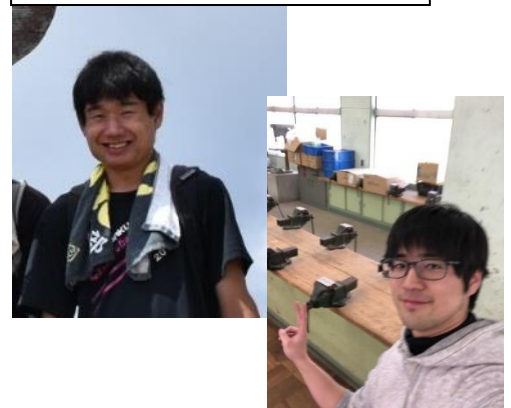
部長代理 真鍋宏教



↑ 2017年夏合宿の様子。左は北岳、右は鳳凰三山



← ↓ 集合写真と仲間たち



✓ 2016年夏合宿北アルプス
↓ 2017旧人錬氷ノ山



68回

2018年

大坂なおみ全米オープン女子シングル優勝 #MeToo
そだねー カメラを止めるな

夏合宿は久々の北海道へ

ジオシティーズサービス終了のためHPをJimdoへ移行。夏合宿は北アルプスに1パーティ、北海道に2パーティ向かうも、全パーティ雨に降られ計画の変更を余儀なくされた。春合宿は九重連山、秋合宿は八ヶ岳登山としまなみ海道でサイクリング。どちらも天候に恵まれ、充実した合宿となった。

主将 玉野浩隆



↑ 夏合宿北海道後半パーティ 旭岳



↑ 夏合宿北海道前半パーティ 黒岳



↑ 夏合宿北アルプス 鷲羽岳



↑ 春合宿九重連山 久住山



↑ 秋合宿八ヶ岳 赤岳



↑ 秋合宿サイクリング しまなみ海道でBBQ

創部 50 周年記念事業を振り返って

50 周年記念行事実行委員会委員長 木島春雄



60 年記念誌は 50 周年から 10 年間の歩みを記録すると聞いています。起点となった 50 周年の記念事業全般について纏めてみてはと依頼があり、紙幅の都合で簡単に報告させていただきます。

最初に、創部は何時か？2008 年前半にネット上で議論が行われ、1960 年と確定されました。

これを受けて同年 6 月に第 1 回目の実行委員会が開かれ会員状況、連絡網、OB・OG 会の財政状況など確認、第 2 回委員会で委員長を選出し 2 年にわたる活動が開始されました。

50 周年記念行事と存続のための組織強化、そして現役へのサポート強化が考えられました。

幸いなことにワングルは体育会の中でも部員数が飛びぬけて多い部で、卒業してからも纏まって活動している年次が多数あり、人材に恵まれていました。皆さんは事業全体の強力な推進力でした。

一方、多くの方が部員数の減少など聞くにつれ現役の状況について強い危機感を抱いていました。幾多の大学でワングルや山岳部は部員減少のため廃部、消滅という事態が生じていたからです。対応策として現役の活動への支援強化が打ち出されました。以下、取り組んだ事業を列記します。

○まず翔羊会の記念事業です。(順不同)

- ① 神大ワングルの OB・OG 会の会名を翔羊会と決定。
- ② 翔羊会の会員資格規定を決定。ワングルに短期間でも所属したことがあり、本人が希望し会費を払えば会員と認めることとした。50 周年当時の会員数は約 600 人、現在 608 名。
- ③ 翔羊会の安定的な運営のため会則を制定。のちに会長選出規定が変更されている。
- ④ 東京支部設置を表明、関東在住会員により実現、活発に活動している。
- ⑤ 翔羊山荘の存続を決定し以降必要な対策が継続的に行われている。
- ⑥ 翔羊会の行事スタート、大阪はパーワン、ゴルフコンペ、探鳥会、東京はパーワン、ゴルフコンペ、両地区ともに現在も継続中。
- ⑦ 創部 50 周年記念誌発行、創部当時から現在に至るまでの記録として発行。
- ⑧ 大学への寄付。全会員に呼びかけ 147 名が出資、150 万 3 千円を大学に寄贈することができた。出光記念講堂の椅子に彫り込まれている。
- ⑨ 創部 50 周年記念大会を 2010 年 10 月 16, 17 日、神戸市の「しあわせの村」で挙行。

○現役への支援として①50 周年記念海外遠征・クロアチア遠征。

継続的な支援策として ②部活動費援助 ③大阪での翔羊会月例会などに招待、先輩たちとの交流機会を増やす

④新人募集活動に物心援助。



しあわせの村にて

翔羊会10年史

翔羊会会長 大塚正一

年 会長	会員相互の親睦	現役支援	山小屋維持管理	会員数 (現役)	その他
2011 (平成23) 和田幹司 15回生	・翔羊会だより2号発行 ・大阪例会 ・東京新年会立上げ ・自主企画 (ゴルフ探鳥会、ワンテリング)	・大阪例会参加費補助 ・新人勧誘費用補助 ・ユニフォーム代補助	・第3次ワーク(9月):8名参加 台所補修、 流し台と調理台取り換え 小屋の看板移設 ベランダ一部支柱撤去	約550名 (9)	前年の新入部員 がいないため 現役2年生0名
2012 (平成24) 和田幹司 15回生	・翔羊会だより3号発行 ・大阪例会 ・東京例会立上げ ・自主企画 (ゴルフ探鳥会、ワンテリング)	・大阪例会参加費補助 ・新人勧誘費用補助	・第4次ワーク(5月):11名参加 台所床・物置屋根張り替え	約580名 (13)	
2013 (平成25) 和田幹司 15回生	・翔羊会だより4号発行 ・大阪例会、東京例会 ・自主企画 (ゴルフ探鳥会、ワンテリング)	・大阪例会参加費補助 ・新人勧誘費用補助 ・ユニフォーム代補助 ・装備代補助	・第5次ワーク(5月):7名参加 玄関ホール壁塗装、キツツキ穴閉塞 ・第6次ワーク(11月):9名参加 外部水道管改修新設 台所窓補修、キツツキ穴閉塞	603名 (11)	
2014 (平成26) 品川方司 16回生	・翔羊会だより5号発行 以後、大阪例会、東京例会 自主企画は毎年実施	・大阪例会参加費補助 ・新人勧誘費用補助 ・ユニフォーム代補助 ・装備代補助	・第7次ワーク(11月):13名参加 台所の水道管補修 台所の外扉と内扉の補修 キツツキ穴補修	約600名 (17)	1名留学生入部、 ネパール遠征を 計画したが中止
2015 (平成27) 品川方司 16回生	・翔羊会だより6号発行	・大阪例会参加費補助 ・新人勧誘費用補助 ・ユニフォーム代補助 ・装備代補助	・第8次ワーク(5月) ・第9次ワーク(10月) 完成後45年経過の痛みと耐震 補強のために本格的補修を決定	約600名 (25)	山小屋補修カンパ 呼びかけ
2016 (平成28) 品川方司 16回生	・翔羊会だより7号発行	・大阪例会参加費補助 ・新人勧誘費用補助 ・ユニフォーム代補助	・第10次ワーク(10月) 耐震補強工事(野口建設) ・第11次ワーク(11月)9名参加 耐力壁の内装や外壁の塗装	約600名 (24)	業者:野口建設株 費用:340万円 カンパ(142名)186.5万 大学の保険=153万
2017 (平成29) 三上弘志 18回生	・翔羊会だより8号発行	・大阪例会参加費補助 ・新人勧誘費用補助 ・ユニフォーム代補助 ・装備代補助	・第12次ワーク(5月):9名参加 ホール、トイレ天井の塗装、 パットレス足元整地 (10月:水源等調査)	595名 (26)	2名留学生入部、 会則の改正 9条:役員を選出 10条:役員の任期
2018 (平成30) 津村和雄 19回生	・翔羊会だより9号発行 20~29回の連絡窓口設定	・大阪例会参加費補助 ・新人勧誘費用補助 ・ユニフォーム代補助	・第13次ワーク(8月):8名参加 草刈り等外回り整備;一人、ツタ ウルシにかぶれる	599名 (35)	2名留学生入部、 新入部員が2桁に なる
2019 (令和元年) 小野原一賀 20回生	・翔羊会だより10号発行	・大阪例会参加費補助 ・新人勧誘費用補助 ・ユニフォーム代補助 ・装備代補助	・第14次ワーク(11月):7名参加 水道関連調査	606名 (35)	「メッチェン大集合!」 5月大阪例会にて 女子部員・OGの 初の交流会
2020 (令和2) 大塚正一 21回生	・翔羊会だより11号発行 予定 新型コロナウイルスの影響 で全企画中止中 ・創部60周年記念誌発行 予定	新型コロナウイルスの 影響で現役の活動停止 中	ワークを見送り、 水道引き込み部分の改善工事 (委託)を検討	608名 (31)	創部60周年 実行委員会発足 委員長:小野原 副委員長:津村

翔羊会総会・新年会 2019年1月16日最後に全員で ↓



大阪定例会 ↑

初企画「メツチェン大集合」

2019. 5. 8



ワンデリング

高御座山(加古川市と高砂市の市境の山)で

↓ 2012. 2. 19



ゴルフ

茨木国際GC

西コース 11名

2016. 4. 19 ↓

山小屋ワーク ↑

大阪組と東京組の
集合写真

2013. 11. 04



探鳥会 ↑

JR道場からの
川沿いの道

2013. 2. 9



翔羊会 東京支部 10年の歩み



東京支部担当常任幹事 野田泰治

2010年10月の創部50周年イベントを契機に、諸先輩の方々が翔羊会東京支部結成に向けての活動を開始し、2011年2月3日、神戸大学東京六甲クラブに、34名が集まり、翔羊会東京支部活動がスタートいたしました。2012年1月の新年会から2ヶ月に1回(偶数月)の定例会を2020年2月までに計50回開催しました。首都圏のみならず 関西、高知、富山等からも集い、交流の輪を広げ、これまでに延べ449名が出席しました。

東京支部では、皆様が気楽に東京六甲クラブに集まり、旧交を温め、交流の輪を広げることが目標にしています。若手の皆様も遠慮なく参加して下さい。残念ながらコロナ禍のために4月以降の定例会が開催できていませんが、WEB等により交流の場を維持するよう努めています。



交流の輪の充実と拡大へ

東京支部では、関西の会員も含めたワンデリングを実施し、これまで、「風の盆」、高知仁淀川、白神山地、熊野古道、尾瀬、黒部・黒薙温泉等全国に及びました。また山小屋ワークにも積極的に参加し、2014年6月には「翔羊山荘竣工45周年記念PW」を行いました。

2017年より会員の交流の場の拡大を目的にワンデリングとゴルフ大会を定例化し、各々年2回実施することになりました。

ワンデリング

第1回を2017年1月に「一足早い房総の春を訪ねて」を開催し、その後は春の桜、秋の紅葉や温泉を訪ねるワンデリングを定例化してきました。日帰りだけではなく、ゆっくり温泉で1泊するワンデリングも行い、現在まで計6回、延べ28名が参加しました。

会員同士で企画作りを楽しみ、交流を深めています。

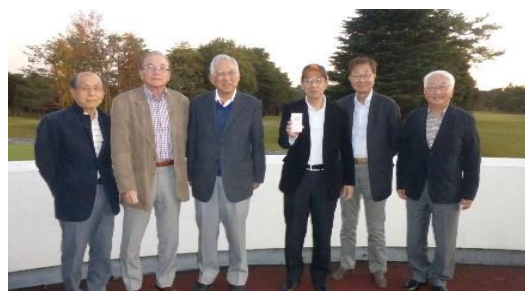
コロナが収束し、一日も早い再開と多くの会員の参加が楽しみです。



ゴルフ大会

第1回大会を2017年1月に清川CCにて開催し、これまでに4回、延べ31名の会員がグリーン上での懇親を深めてきました。

2020年はコロナ禍のため、開催を見合わせていますが、可能になり次第再開する予定です。会員の皆様の参加をお待ちしています。



部員名簿

氏名の前のCは主将、Sは副将、Mは主務

回生	氏名(国籍)				
63回	M 青池 一平	C 中川 直希	S 松田 武尊		
64回	C 池戸 建騎	五井 健登	M 大木 舜介	S 野本 哲寛	
65回	易 秋詩 (CHN)	S 板井 大空	呉 岩 (CHN)	ユリタ ウルバニャク (POL)	C 大川 弘祐
	S 國松 渚	M 新倉 さらさ			
66回	池上 早絵	S 上田 貴文	C 葛原 諒	小林 正弘	M 武下 裕樹
	西村 僚祐				
67回	石原 健嗣	S 小川 智史	C 田中 大輝	知念 健太	富田 馨大
	林 雅大	真鍋 宏教	三野 航司朗	M 山元 千早	
68回	乾 智絵	C 玉野 浩隆	M 若林 宏樹	S 渡邊 祐作	
69回	小野 碩	C 黒木 爽矢	M 齋藤 文美博	蔡 禎璋 (CHN)	中村 篤
	西岡 航汰	S 星 大地			
70回	M 黒田 凌真	齋藤 瑠衣	島 宏徳	鈴尾 成弘	竹原 日隆
	武村 直哉	C 建石 航希	中西 遼磨	浜崎 光	目黒 那奈
	森本 晴己	S 和田 真美			
71回	アレクサンダーライクマン (AUT)	岩島 大季	大澤 遼	梶原 大知	武田 駿也
	玉井 伸幸	豊田 峻大	ヒササリン (DEU)	ホオ アク マッティ ビリヤミ (FIN)	松原 光佑
	森山 岳	山本 涼佳			



創部 60 周年記念誌編集委員会

初めに、ご多忙にもかかわらずご寄稿いただいた顧問、会長、現役主将の皆様にお礼申し上げます。

学年の頁は、幸い各回生の連絡窓口が事前に確定したのでスムーズに編集することができました。ご協力いただきました連絡窓口の方に感謝いたします。

一見、単純な表に見える十年史は、多くの方が上下左右から校閲された結果だし、部員名簿も、部員とは何か？から始まり、実行委員会の皆さんの合意のもとに収録されました。また、十年史の写真は編集委員会の一次選考後、実行委員会の投票で選定しました。その他、50 周年記念事業、東京支部活動をコンパクトにわかりやすくまとめていただきました。

5 月 23 日の実行委員会で、本誌発行が決まった時は、50 周年記念誌を踏襲するだけの気楽な気分でした。しかし、コロナ禍が対面会議を阻み、単純な事でもひっきりなしにやり取りせざるを得ないメールの洪水に 5 人の編集委員は煩雑を極めました。今、編集後記を書く段階になり、ホットしているところです。

デザインは費用削減もあり、自前で行いました。本誌の顔である表紙裏表紙の写真は日の出をテーマにしました。一つの解しかない数学では無いので、今後、読者の評に耐えることを願うばかりです。

創部 60 周年記念事業実行委員会

氏名(敬称略)	入学年(回生)
品川 方司	64年(16回)
山本 吾朗	65年(17回)
三上 弘志	66年(18回)
津村 和雄	67年(19回)
小野原 一賀	68年(20回)
野田 泰治	68年(20回)
大塚 正一	69年(21回)
森田 博一	69年(21回)
濱口 哲男	70年(22回)
青木 健郎	71年(23回)
北野 和彦	71年(23回)
眞野 光司	72年(24回)
木代 雄久	73年(25回)
大倉 稔	74年(26回)
勝部 俊郎	74年(26回)
鈴木 隆央	75年(27回)
平木 寛	75年(27回)
吉村 雅夫	76年(28回)
松本 雄太郎	77年(29回)
建石 航希	18年(70回)
鈴尾 成弘	18年(70回)
玉井 伸幸	19年(71回)



神戸大学体育会ワンダーフォーゲル部 創部60周年記念誌編集委員会

三上 弘志(18)
 津村 和雄(19) プロモーター
 小野原 一賀(20) 実行委員会委員長
 大倉 稔(26)
 松本 雄太郎(29)
 ※()は回生



神戸大学体育会ワンダーフォーゲル部創部60周年記念誌

発行日 2020年9月15日

発行 神戸大学体育会ワンダーフォーゲル部
創部60周年記念事業実行委員会

編集 創部60周年記念誌編集委員会

表紙写真：左 2018.9 秋合宿八ヶ岳より、右 2019.8 夏合宿大天荘テント場より [WV Twitter より]

裏表紙写真：WV公式ホームページ表紙より